

授業科目 (ナンバリング)	病院薬学 (NF330) (実践的教育科目)			担当教員	室 高広・一木 裕子・末廣 真理恵 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>本学薬学部薬学科のディプロマポリシーである、薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識、医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる技能、薬の専門家として十分なコミュニケーション能力、個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力、地域医療・保健に参画することができる能力を備えることを目標とする。特に、この科目では、卒業後に臨床において医療チームの一員として参画できるための知識、技能、態度を身につける。</p>							① ② ④
	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力	薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応することができる。				・定期試験 ・小テスト	30% 30%	
情報収集、 分析力	医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる。				・定期試験	10%	
コミュニケーション力	薬の専門家として十分なコミュニケーション能力を修得する。				・定期試験	10%	
協働・課題解決力	個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる。				・定期試験	10%	
多様性理解力	地域医療・保健に参画することができる。				・定期試験	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
講義、配布資料、パワーポイント等の内容から定期試験成績 (70%)、小テスト (30%) を基に長崎国際大学の成績評価基準に準拠して厳正に判定する。							
授業の概要							
<p>病院・薬局の勤務経験がある教員が、実務経験で得られた知見や事例等を取り入れ、授業を展開する。 基本的には教科書およびプリント等の資料配布、パワーポイントを利用する。 授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：無 参考書：スタンダード薬学シリーズ6 薬と疾病 薬物治療に役立つ情報、シリーズ1 ヒューマニズム・薬学入門、 指定図書：スタンダード薬学シリーズ6 薬と疾病 薬物治療に役立つ情報、シリーズ1 ヒューマニズム・薬学入門</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>卒業後に、病院薬学で修得した知識・技能を応用し、医療現場において医療チームの一員として活躍できる薬剤師になって欲しい。 配布されたプリント及び参考書等を利用して予習・復習をしっかりとるようにして下さい。講義中および講義後の質問は大いに歓迎します。 ※質問は、基本的に在室中は可能ですので、担当教員のオフィス (薬学研究棟 P302：室、P312：一木、P412：末廣) を訪ねて下さい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標 番号*
1	薬剤師の活動分野と地域社会の人々との信頼関係	医薬品の適正使用、創薬における薬剤師の役割。薬の専門家と地域社会のかかわり。(一木)	配布資料 確認	9, 10, 12, 895
2	医薬品の承認・規範と開発すべき医薬品	市販後調査の制度とその意義。GLP・GMP・GCP・GPSP, GVP, GQP の概略と意義。ジェネリック医薬品の役割。(一木)	配布資料 確認	104, 760-762
3	薬物治療に役立つ情報《情報》	医薬品として必須の情報。医薬品情報にかかわる職種と役割。開発過程で得られる情報の種類。市販後に得られる情報の種類。医薬品情報に関する法律と制度。(室)	配布資料 確認	761, 762, 768, 897, 898
4	薬物治療に役立つ情報《情報源》(I)	情報源の一次・二次・三次資料とそれらの特徴。厚生労働省・製薬企業の発行する資料。(室)	配布資料 確認	764, 765, 766, 768
5	薬物治療に役立つ情報《情報源》(II)	医薬品添付文書、インタビューフォームの法的位置づけ・用途・項目と、使い分け。(一木)	配布資料 確認	766-768
6	患者情報の収集・評価・管理(I)	患者基本情報。患者情報源の種類。問題志向型システム。(末廣)	配布資料 確認	37, 797, 798, 799, 802, 896, 987
7	患者情報の収集・評価・管理(II)	患者基本情報。患者情報源の種類。問題志向型システム。(末廣)	配布資料 確認	37, 797, 798, 799, 802, 896, 987
8	患者情報の収集・評価・管理	インタビューからの情報収集。患者の効果・副作用情報の評価と対処法。チーム医療における患者情報の共有。患者情報の取扱い(守秘義務等)。SOAP形式での患者記録作成演習(末廣)	配布資料 確認	54, 56, 800, 950, 1015
9	医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理	必要な情報の検索と収集。情報の質的評価に必要な項目。情報の加工・提供と知的所有権・守秘義務。情報の提供手段と特徴。(室)	配布資料 確認	764, 765, 766, 768
10	データベース	代表的な医薬品情報データベース。データベースの検索。インターネットによる医薬品情報収集。(一木)	配布資料 確認	770
11	医薬品の採用	採用・選択に当たっての検討項目(室)	配布資料 確認	794, 897, 898
12	治験の意義と業務	治験に関するヘルシンキ宣言。創薬における治験の役割。治験の内容(第I~IV相)(末廣)	配布資料 確認	31, 35, 38, 39
13	医療行為にかかわる ところ構え、コミュニケーションとチームワーク	インフォームドコンセントの定義と必要性。コミュニケーションの方法に関する演習。チームワークの重要性。(末廣)	配布資料 確認	27, 28, 36, 42, 47, 48
14	医薬品開発のコンセプトとバイオ医薬品・ゲノム情報	疾病統計による日本の疾病の特徴。組換え医薬品の特徴・有用性・安全性。(一木)	配布資料 確認	489, 731, 732
15	伝票の種類と流れ リスクマネジメント	薬剤師が係わりあう病院内の伝票の役割とその流れ。薬剤師が係わりあう医療事故防止。(室)	配布資料 確認	972, 974, 981
16	定期試験	筆記試験		

注) 上記の第1回~第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。